



あすか便り

第21号

令和3年8月10日発行

発行：特別養護老人ホーム

飛鳥の里三清荘

七夕



コロナウイルス感染症に関しまして、ご家族の皆様にはご理解とご配慮を頂きまして、ありがとうございます。

7月末にオリンピックが開催され、明るいニュースがたくさんありました。ユニットでも選手を応援している姿が度々ありました。

いまだコロナウイルスの感染者数は増減を繰り返しており、気が抜けない状況です。

今後とも感染対策に努めて参りたいと思っております。

一日でも早く、以前のような穏やかな日々が戻ってきますように……。



最近の活動の様子

日常の様子



最近の喫茶の様子をお伝えします。(栄養士企画)
6月にアイスの提供、7月には七夕そうめんの提供を行いました。段々と暑くなり、冷たいものを食べるのができ、入居者の皆様もとても喜ばれていました。季節を感じることができ、皆様の笑顔がたくさん見られました。



新型コロナウイルス感染症の流行から一年以上経ちましたが、いまだ先行きが不透明な状況にあります。今後も感染対策を怠らず、施設内に持ち込まないよう職員一同、努めて参ります。ご家族様には何かとご不便をおかけするかと思います。が、引き続きご協力いただけますと幸いです。

新型コロナウイルス感染症により、行事等が通常通りとはいかず、規模を縮小する等して行っております。少しでも入居者の方に楽しみを持って過ごして頂きたいと考えております。

コロナワクチン接種もすすみ、面会も直接できませんかとのお問合せも増えております。しかしながら感染者数も増えており、なかなか難しい状況ではあります。一日も早く直接会える日が来ることを祈っております。

編集後記

広報誌担当 山下

